

令和4年度 保健師職能委員会活動紹介

保健師職能集会 R4.6.25

長引くコロナ禍で、初めて Web 開催しました。

○事業報告

○講演「こころの元気を保つヒント」山口県公認心理師協会

産業・組織領域委員会理事 篠田光臨先生

なかなか先の見通しのつかない不安や生活様式の変化など、住民のストレス増加とともに、対応する保健師の負担も大きくなっている今、保健師のメンタルヘルスをテーマとしました。参加者より「よりよい住民支援を行うためには、保健師自身が元気でなければならないと改めて感じる研修でした。」「久々に同職種の方の思いを聴き、聴いてもらえる機会となり、テーマであった仕事に取り組む上でのモチベーションが上がりました。」などの感想がありました。



保健師交流研修会 R4.11.5

3年ぶりに集合形式で交流研修会を開催しました。

○講演「コロナ禍における保健師活動に期待すること」

山口県防府保健所長

山口県新型コロナウイルス感染症対策室兼務

原田昌範先生

○年代別グループワーク

テーマ「コロナ禍での保健師活動～現状と思い～」

「これからの保健師活動～保健師として大切にしたいこと～」

参加者より「本来の保健活動とコロナによって変化した保健活動について、公衆衛生の基本に戻り、俯瞰的にみて、どうあるべきかを振り返り、考えることのできた機会となりました。」「コロナ対応の中で見えてきた地域課題なども共有でき、共に保健活動に取り組んでいきたいなと感じました。」などの感想がありました。



県職能委員と支部職能委員合同会議

R4.11.5、R5.3.18

会議では地区支部活動や看看連携の状況の共有化を図りました。「コロナで保健所に応援に入ったり、支援してもらった経験などから、改めて自分の仕事を振り返ることができた。オンラインが進み、活動の選択肢は増えたが、同じ所属でも直接会うことが少なくなり、つながることの大切さを感じている。」などの意見がありました。

